

# 九手連広報誌 『はっけん』

## 掲載内容

- ・平成14年度 後半 活動状況
- ・平成15年度 活動予定
- ・各県活動状況・各県サークル紹介（各県の小規模サークル）

### 【平成14年度 後半 活動状況】

- ・ 11月30日～12月1日 （熊本市） 第3回 理事会
- ・ 2月22～23日 （熊本市） 第4回 理事会

### 【平成15年度 活動予定】

- ・ 6月27～28日 （武雄市） 第1回 理事会
- ・ 6月28日（武雄市）第29回九州手話サークル連絡協議会評議委員会
- ・ 6月29日（武雄市）第11回九州手話サークル連絡協議会リーダー研修会
- ・ 9月 7日 （熊本市） 第2回 理事会
- ・ 11月29～30日 （熊本市） 第3回 理事会
- ・ 2月28～29日 （熊本市） 第4回 理事会

## 九州手話サークル連絡協議会

（事務局）〒866-0892

熊本県八代市古閑下町1717-43

前瀬 洋一 0965-35-2653

発行責任者：村本宗和

広報担当者：川添啓一（鹿児島）

発行年月日：平成15年3月31日

## 【各県活動状況・各県サークル紹介（各県の小規模サークル）】

### 宮崎県手話サークル連絡協議会

#### <活動状況>

- 10月 6日（日）第32回宮崎県手話通訳問題研修会：宮崎市（県聴障協主催）  
小出新一氏による講演と手話通訳技術実技指導
- 10月20日（日）手話・スポーツフェスタ：宮崎市（県聴障協主催）  
手話関係ゲーム・風船割り・ピン倒し・パンくい競争 他

- 1 1月10日(日) 第5回宮崎県聴覚障害教育フォーラム：宮崎市  
 (県聴障協,宮崎県聴覚障害教育の充実をめざす連絡協議会主催)  
 宮崎県の聴覚障害教育の現状報告  
 佛教大学臨床心理学科助教授 河崎佳子氏による講演
- 1月26日(日) 県サ連研修会  
 日向市の中山甚助氏による講演・分科会  
 講演は県サ連(県訳連)の歴史と手話を学ぶとはどういうことか。  
 第一分科会「いろんな人と手話で話そう」  
 第二分科会「手話サークル活動について考えよう」
- 2月16日(日) 三団体合同役員会
- 3月 2日(日) 第32回 宮崎県耳の日記念大会：日向市
- 4月 日(日) 県サ連定期総会

#### <宮崎県手話サークル>

##### 日南手話サークル

- ・会員数 10名
- ・活動場所 日南市保健福祉総合センター 3F ボランティア室
- ・活動時間 毎週木曜日 午後7:00~9:00
- ・活動内容 主に、手話講習会の講師、市内とその近隣の小中学校への手話講座の指導、市内で行われるイベントなどの手話通訳。また、恒例の年間行事としては、障害者運動会のボランティアと手話通訳、夏の鹿屋手話サークルとの交流キャンプ、3月に行われる日南市福祉祭りの参加など。第一木曜日には定例会を開き、月行事などを話し合います。2~3年に1度、デフパペットシアターひとみの講演を日南市で実施しており、その時には新旧会員が一同に集まります。昨年も「オルフェウス」の講演があり、大盛況でした。
- ・サークルより一言  
 現在、会員数の減少に悩んでいます。また、今まで来ていた講師の聴覚障害者も高齢のため、講習会への参加が難しくなっています。10年前には、会員数が30人以上の時もありましたが、最近仕事を持っている人も増え、なかなか昼間に動ける人が少なくなってきました。また、手話通訳者養成課程の基礎課程が終わった後、勉強する場がないという意見も出ています。

##### 大分県手話サークル連絡協議会

#### <活動状況>

- 1 1月9~10日(土・日) 第29回大分県手話研修会：湯布院青年の家  
 1日目は、災害ボランティアに関する研修を行い、県内の聴障者2名に、御自身の体験に基づく体験発表をして頂きました。2日目は、中園秀喜氏を講師に迎え、「聴覚障害者のバリアフリー！」と題して講演頂き、3つの分科会が開催されました。
- 1 2月 1日(日) 第3回サークル訪問交流会：野津町  
 野津町手話サークル(吉四六)を訪問。

これは、県内各サークル2名の理事と共に、県内の手話サークルを訪問し、問題点や悩みを交換し合う事によって、今後の活動に生かすことを目的に1年に1回行われています。

県手連機関紙「OSR」の発行

「OSR」新年号を発行しました。年間2回発行しています。

3月 1日(土) 大分県聴覚障害者協会・全通研大支部・県手連の3団体会議で、これによって3団体の年間行事日程が調整されます。

<大分県手話サークル>

手話サークル「ちとせ」

- ・会員数 現在、5名
- ・活動場所 村の行事(福祉関係)や聴障センター・県手連・他サークルの行事に参加・協力しています。
- ・活動内容 月2回、近隣の聴障者を招き、「学習会」を開いています。村の小・中学校の(福祉体験学習)で「簡単な手話」や聴障者との交流などに、積極的に協力しています。
- ・サークルより一言

人口2,600人の小さな村です。

村内に聴障者がいないため、まだまだ「手話」に対する関心が薄いですが、サークル員は、色々な方面でのエキスパートで、いわゆる「少数精鋭」で頑張っています。そのため、自ら「手話」の学習会も幅広く、内容も深いものとなっています。

### 佐賀県手話サークル連絡協議会

<活動状況>

2月23日(日) 研修会

講師を長崎の小浜規男氏、佐賀県聴覚障害者協会会長・中村稔氏にお願いして手話学習の比較的短い方を対象にした研修会を開きます。午前中は「私達に求められているもの」と題して講演。午後は「手話サークルの役割」についてグループ討議を行います。この研修会が会員の自覚と活動意欲に火をつけ手話サークル、佐手連の発展へと繋がることを願います。

<佐賀県手話サークル>

浜玉手話サークル

- ・会員数 11名 メンバーは小学生2名、大学生1名、保育士1名、教員2名 会社員2名(聴覚障害者)、主婦3名で構成されています。
- ・活動場所 浜玉中央公民館で毎週月曜日の午後7時30分から9時迄
- ・活動内容 上野靖先生(会員)の指導で交流を行っています。他に、地域住民と小中学校との交流学習会が年4回開かれますので、サークルで対応しています。また、浜玉中学校文化祭の手話劇の相談や昨年11月に開催された佐賀バルーンフェスタには、悪天候の中「手話通訳」として参加しました。浜玉町の「浜玉宿フェスタバル」には、地元商工会より「お客様の中に手話を必要とする人があるので手伝っ

て下さい」との依頼で対応し、大変喜ばれました。2年毎に「手話講座」も開催しています。

・サークルより一言

皆さん、こんにちは。代表は辻村多鶴子です。

浜玉手話サークルは昭和63年10月に誕生しました。

サークルの運営費用は社協からの助成金と会費で運営しています。

講座開催についての費用は町より助成があります。しかし、講座終了後サークルに加入する人が少なく、また加入しても長続きしないのが残念です。サークルの活動で最も楽しいのは、聴覚障害者の方との年2回の親睦会です。食事の後のクイズやゲームを一緒にして楽しむことです。

### 熊本県手話サークル連絡協議会

<活動状況>

1月26日(日) 県わかぎ研修会

今までは県ろう協などと合同で研修会は開いていましたが、独自の研修会は久しぶりでした。学習、広報、交流、組織の4分科会に分かれて討論を行うという研修会で、40名弱の参加がありました。時間を持て余すのではという心配もありましたが、各分科会とも活発な意見交換が行われました。この研修会が各サークルの活動に参考になればと思います。

<熊本県手話サークル>

鹿本わかぎ

・会員数 6名

・活動場所 毎週木曜日 夜7時半～9時。

(鹿本郡) 植木町「生涯学習センター」研修室

・活動内容 手話奉仕員養成事業への協力(山鹿市で開講されている手話講習会にも講師補助等)サークル独自の研修会(一泊セミナー)を年に1～2回開催し、ろう協の各種行事にも積極的に参加しています。地域の他サークルとも協力し、交流などを行っています。初心者集団ですが、手話通訳の現場経験を深めながら、皆やる気満々です。

・サークルより一言

こんにちは～ 私たち「鹿本わかぎ」は小さな所帯です。

しかし、自慢できることは、県わかぎや、ろう協の行事への参加率が非常に高いことですね。また、ライバル心を心に秘めながら皆、仲がいいことですね。例会では、ろう者的手話を学びながら、新聞記事などを使い通訳の練習をしたりしています。時には、単なるおしゃべり会だったりして……。皆、手話通訳者統一試験の合格を目指して、頑張っています。

11サークルが集まって熊本県手話サークル「わかぎ」を形成しています。ともに手話を学び、ろう者と共に歩むことを活動の第一方針としており、熊本県ろう者福祉協会と共に活動しています。

## 長崎県手話サークル連絡協議会

### <活動状況>

11月10日(日)文化フェスティバル

今回、初の試みとしてろう協・全通研・県手連の三団体合同主催「手話スピーチコンテスト」を開催。これは手話奉仕員養成の基礎課程を修了後、サークル会員1年生となった仲間の手話活動の場で、ろうあ者と共に活動することを目的として企画されました。各サークル代表の会員1年生が、地域のろうあ者と共に考え、練習した手話でスピーチを行いました。「初めてで緊張したけれど、同じ地域のろうあ者と話したり、多くのことを学ぶことができてうれしかった。」とのコメントをもらいました。

11月16～17日(土・日)「一泊交流会・担当者研修会」: 県北地区の川棚町

16日の夜は、各地域のサークルから50人くらいの会員が集まり、にぎやかに交流会が行われました。翌日の「担当者研究会では、ろう協の会員さんをお願いし「ろうあ者の願い」と題して、地域の手話サークルに望むこと等お話し頂きました。その後、各グループに分かれて「地域に暮らす、ろうあ者との関わりについて」等の討議を行いました。日頃、思いを聞いてもらったり、各サークルの取り組み等を知ることができ、本当に良かったです。

3月

ろう協主催:「耳の日集会」への参加・協力

その他

各ブロック主催の交流会・会議等様々な活動を行ないました。

### <長崎県手話サークル>

#### 手話の会「そとめ」

・会員数 6名

・活動場所 外海町ふるさと交流センター

・活動内容 サークルの例会・地域の行事等の参加です。14年度は地域の人たちに、ろうあ者や手話サークルのことをもっと知ってもらうために、県ろう協会長をお迎えして「聞こえない人たちの生活」と題した講演を行いました。手話とは直接関係のない地域の人たち50名程が集まったそうです。その他に、手話サークルのPR活動を行うために、外海町の広報紙や社協だよりによりサークル活動の様子を取り上げてもらったり、ふるさと祭りで手話コーラスで参加したりと、がんばっているそうです。「小さいサークルですが、自分たちのできることを、いっしょうけんめいがんばっています!!」

私たち長崎県手連は、県内の手話サークルを大きく3つの地区(ブロック)に分けて活動するブロック体制をとっています。理事会は年4回。

また、担当はブロックごと持ち回りです。

## 鹿児島県手話サークル連絡協議会

### < 活動状況 >

10月14日(祝)一日研修会「座 お話タイム」: ハートピアかごしま  
県内の各サークル会員及び、県聴覚障害者協会会員を対象  
に簡単なゲーム(参加者で2重円を作り、5分間づつお  
見合いをしてもらう。話す内容は自由)を行なった。50  
人くらいの参加があり、各会員が他のサークルを知る良い  
コミュニケーションの場になったようでした。

2月9日(日)一日研修会「手話通訳勉強会」: ハートピアかごしま  
鹿児島県では今年度、初めて全国統一手話通訳者登録試験  
が行なわれました。これに関連し、手話通訳試験(実技・  
読取り・筆記)を各グループ(健聴者・聴覚障害者3~4  
人)で解く形式をとり、県聴障協にもご協力を頂きました。  
今回、県手連として初の試みでしたが、70人くらいの参  
加がありました。試験の内容を知る良い機会になったと思  
います。

10月~3月(日)毎月1度、県手連理事会。年4回、機関紙発行。

### < 鹿児島県手話サークル >

#### 種子島手話サークルたんぽぽ

- ・会員数 17名
- ・活動場所 毎週火曜日 夜7時30分~9時迄 西之表市市民会館  
第2月曜日 夜7時30分~9時迄 中種子町中央公民館
- ・活動内容 例会では毎回、会員1名が担当し企画した内容にそって進行す  
る。(手話しりとり・手話表現ゲームなど)  
サークルの行事として、他のサークルとの交流キャンプや磯遊  
び・お月見会・クリスマス会等、行なっている。
- ・サークルより一言  
私たち種子島手話サークルは、1市2町からなる種子島全土を  
活動の場にしています。島には聴障協支部が無いので、聴こえ  
ない方々にもサークルに入ってもらい、一緒に楽しく活動して  
います。聞こえない方にも例会の担当をお願いし活動しており  
ます。

#### 編集後記

各県より記事は頂いて、発行が大変遅れてしまいまして、申し訳ありませんで  
した。ようやく編集が終わり今回は、各通信員を通じて発行致します。今回の  
「はっけん」では、各県の手話サークルの中で小規模ですが活発に活動してい  
るサークルを紹介してみました。皆さんのサークル活動の参考になればと思い  
ます。最後に、ページの関係で皆様から頂いた原稿を勝手に手を加えたことを、  
お詫び申し上げます。

